

日本分析化学会第 66 年会
—発表形式及び講演分類一覧—

【発表形式】

01：一般講演（口頭発表）←15分（講演12分、討論3分）

- 0 特別シンポジウム枠での発表を希望しない
- 1 分析技術による企業内 R&D 推進と課題解決
- 2 定量分析法としての NMR の意義と応用
- 3 流れ分析法とその関連技術の新展開
- 4 分離メカニズムの創成～前処理と分離検出の新展開～

（注）シンポジウム枠内で講演を希望される場合は 01-1～01-4 から選択してください。

02：一般講演（ポスター発表）←60分

03：若手講演（ポスター発表）←60分

04：テクノレビュー講演（口頭発表）←30分（講演25分、討論5分）

05：テクノレビュー講演（ポスター発表）←60分

06：研究懇談会講演（注）応募講演の方は選択しないでください。

※講演時間は変更する場合があります。

【講演分類一覧】

01：原子スペクトル分析（ICP-MS を含む）

02：分子スペクトル分析（吸光分析法，蛍光・リン光分析法，赤外・ラマン分析法，表面プラズモン共鳴など）

03：レーザー分光分析（フォトサーマル・レーザー励起発光，顕微分光，非線形分光など）

04：X線分析・電子分光分析

05：放射化学分析

06：NMR，ESR，磁気分析

07：電気化学分析

08：センサー，センシングシステム

09：熱分析

10：有機微量分析（元素分析を含む）

11：質量分析

12：マイクロ分析系（マイクロチップ，マイクロ分離システム，一分子検出系など）

13：フローインジェクション分析

14：液体クロマトグラフィー

15：ガスクロマトグラフィー

16：電気泳動分析（キャピラリー電気泳動システム）

17：溶媒抽出法，固相抽出法，イオン交換系

18：分離・分析試薬の設計

19：分析化学反応基礎論（平衡論，速度論）

- 20 : データ処理理論 (ケモメトリックス, パターン認識, コンピューター利用など)
- 21 : 標準試料
- 22 : サンプルング, 前処理
- 23 : 界面・微粒子分析 (液液系, 固液系, ナノ粒子, SPM など)
- 24 : 宇宙・地球に関する分析化学 (天体, 大気, 河川・海洋, 土壌など)
- 25 : 地球環境関連分析 (環境汚染物質, 環境放射能, 粉じん, 生体影響物質)
- 26 : エネルギー関係 (電池材料, 燃料電池材料, バイオマスなど)
- 27 : 農業, 食品等分析 (食物, 野菜, 家畜, 遺伝子組み換えなど)
- 28 : 無機・金属材料分析
- 29 : 有機・高分子材料分析 (有機・無機複合体材料を含む)
- 30 : 医薬品, 臨床分析 (医薬品分析・臨床化学分析・法科学分析, イムノアッセイ, POCT, 医療用バイオセンサ, インビボ計測)
- 31 : バイオ分析・イメージング (核酸, 遺伝子, タンパク質, 細胞, イメージング, プローブ顕微鏡など)
- 32 : その他

2017年4月24日